

第3回 治験中核病院・拠点医療機関等協議会 2008.12.2

治験・臨床研究を実施する人材を育成し、 確保する人材育成への取組み

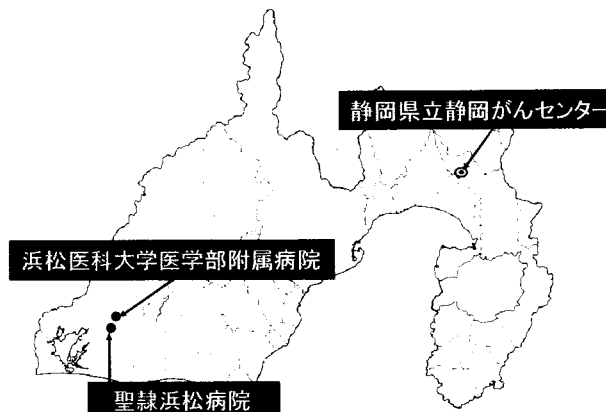
～静岡県三治験拠点病院連絡協議会の取組み～

鈴木千恵子¹⁾、齋藤裕子²⁾、可知茂男³⁾、浅野正宏¹⁾、手嶋希久子¹⁾、
佐藤弥生²⁾、立花 弘子³⁾、大木正章⁴⁾、浮島 美之⁴⁾

- 1) 聖隷浜松病院 2) 静岡県立静岡がんセンター
3) 浜松医科大学医学部附属病院 4) ファルマバレーセンター

1

静岡県の拠点医療機関



2

個々の施設の取組み(1)

- 浜松医科大学医学部附属病院
 - 実務研修職員の受け入れ(1年間)
 - 近隣医療機関からのCRC(臨床検査技師1名)出向研修の受入
 - 将来、CRCを希望する看護師3名の研修職員としての新規雇用
- 静岡県立静岡がんセンター
 - 癌臨床研究ネットワーク
 - カイトリル試験を通じた臨床試験実施体制整備
 - がん領域セミナー
 - がん臨床試験 実践セミナー
 - がん専門CRCレジデント制度
 - がん領域専門のCRCを育成するために、2年間の現場研修(現場での講義を含む)を行う

癌臨床研究NW施設

3

個々の施設の取組み(2)

- 聖隷浜松病院の取組み
 - 医療スタッフ向け冊子作成
 - 作成を通じたCRCの学習
 - 院内&診療所スタッフへの配布
 - 外部医療機関への配布
- 西部CRCの会
 - (浜松医大病院共催)
 - 現場で困っていることを具体的に検討
 - 現場の苦労や困難を分かち合う場⇒モチベーションの維持
 - 依頼者との具体的な意見交換



静岡県の3拠点医療機関

3病院が連携して、
県内の治験・臨床
研究の活性化に寄
与しよう！

静岡県立静岡がんセンター
ファルマバレー
センター(PVC)
浜松医科大学医学部附属病院
聖隷浜松病院

5

静岡県治験拠点病院連絡協議会

【趣旨】
県内3拠点医療機関が、それぞれの施設の特徴を生かし、
連携して県内の治験・臨床研究の活性化に寄与する

【構成】
静岡県立静岡がんセンター
浜松医科大学医学部附属病院
聖隷浜松病院
*静岡県治験ネットワーク事務局(PVC)

【取り組み】

1. 県民への普及啓発
2. 県内CRCのスキルアップ

6

県内CRCのスキルアップ

【検討課題】

- 拠点病院が連携してこそできること
- PVC主催の県治験ネットワーク研修との区別

【提案】

- ポスター発表の場は多いが、口演の事例報告会がない
- 発表することにより、日常業務の整理・振り返りができる
- 経験の浅いCRCの発表練習の場として活用
- 三拠点医療機関が発表の相談や支援をする
- ひとつはどの施設も共通の問題である『教育』をテーマに
- 気軽にディスカッションできるような環境を

7

静岡CRC研究会(1)

日時: 2008年8月30日(土) 14:00 ~ 17:30
場所: あざれあ(静岡市駿河区馬淵1-17-1)
主催: 静岡県治験拠点病院連絡協議会

第1部: 一般演題「事例報告」

<座長> 齋藤裕子、可知茂男

- ◆ 逸脱防止について 静岡県立総合病院 青島広明
- ◆ EDCを経験して 聖隷浜松病院 木俣美津夫
- ◆ 全員参加のキックオフミーティング 袋井市民病院 名倉真理子
- ◆ 静岡県治験NWでの統一書式使用に向けて
ー作業班の取り組みー 富士宮市立病院 稲葉達也
- ◆ 統一書式の課題 ー医師会アンケートをもとにー
富士宮市立病院 稲葉達也

静岡CRC研究会(2)

第2部:テーマ演題「CRCの教育・研修について」

<座長> 立花弘子 鈴木千恵子

- ◆ 浜松医大におけるCRC教育の現状
浜松医科大学附属病院 木村路子
- ◆ 臨床試験に関わるCRCの教育・研修の現状
静岡県立静岡がんセンター 佐藤弥生
- ◆ CRCの現状から考える望ましいCRC教育・研修
国立病院機構大阪医療センター 森下典子
- ◆ SMOにおけるCRC教育・研修
ハイクリップス株式会社 河野健一
- ◆ 薬学研究科大学院におけるCRC教育
静岡県立大学薬学部医薬品情報解析学教室 小菅和仁

9

その他の活動:県民への普及啓発

- 一般市民向け公開講座
 - 県東部・中部・西部、各1回/年、12月～翌2月頃
 - 統一テーマで!
- 被験者紹介システム
 - 県民
 - ボランティアとして医療の発展に貢献したい
 - 現在、治療に難渋している
 - PVC ⇒ コールセンター的機能
 - 静岡県治験ネットワーク参加病院
 - コールセンターからの紹介に対応できる体制づくり

10